

てっこうきでん

TEKKOKIDEN

(一社)石川県鉄工機電協会
TEL (076) 268-0121
URL <https://www.tekkokiden.jp>
題字/名誉会長 中村 健一

令和7年度通常総会開催

新会長に澁谷英利氏を選任

6月23日(月)、ホテル日航金沢にて会員210名がご出席のなか、令和7年度通常総会を開催いたしました。

令和6年度事業報告および総括財務諸表、ならびに理事・監事全員の任期満了に伴う選任案、馳浩鉄工機電業界後援会の発足等について、すべて原案どおり可決・承認されました。

また、新たに会長に澁谷英利氏、副会長に新家伸一氏を選任いたしました。

なお、2期4年に亘り会長職を務められ、今回名誉会長にご就任いただいた中村健一氏に、また11期22年に亘り副会長職を務められ、今回常任相談役ににご就任いただいた新家康三氏に対し、感謝状を贈呈いたしました。



一般社団法人石川県鉄工機電協会
会長 澁谷 英利

[令和7年6月23日就任]

澁谷新会長挨拶要旨

6月の総会・理事会においてご選任を賜り、会長に就任いたしました。昭和37年設立以来63年の歴史を待ち、各界の先輩方をはじめ現在699社・31協同組合が加盟する当協会の第9代会長として、その責務の重さを痛感している次第です。その社員数合計で約4万6千人、売上高の総合計は1兆7300億円規模であり、協会と会員皆様の発展のため微力ながら尽力して参る所存でございます。

このたび名誉会長にご就任頂きました中村健一前会長には、4年間にわたり、コロナ禍や半導体不足、ロシア・ウクライナ情勢、昨年の能登半島地震など数々の困難な局面において、当協会を力強く導いて頂きました。特に、製造業の生産性向上に向けたデジタル化の推進などに取り組み、協会活動の基盤を築いてこられました。そのご功績に心から敬意を表し、厚く御礼を申し上げますとともに、引き続き豊富なご経験に基づくご指導を賜りたく存じます。

さて世界経済は、米国の一連の関税政策の強化とそれに伴うインフレ再燃と景気後退リスクの不確実性が高まっています。不確実性には柔軟性の対応が重要といわれます。第2次世界大戦後80年もの間、米国によって平和と安全保障が維持された世界秩序が変わろうとしており、我が国は米国とWIN-WINの関係を維持しながら新たな国際秩序への枠組みの構築を求められています。不確実性の長期化は、民間投資や消費動向に影響し、日本の産業にも広範囲で影響をもたらし始めており、私たち石川県の鉄工機電業界としても、米中間の貿易摩擦や為替変動に注視しながら、情報の収集と柔軟な経営戦略を必要とされています。

国内においては、日銀の金融政策正常化の進展やインフレ圧力の継続など、経済環境が大きく変化しております。特に原材料価格や人件費の上昇は、私たち製造業にとっての課題として、適正な価格転嫁と生産性向上の両立が急務であります。AI・IoTの活用やDXの推進について、協会として会員企業の生産性向上の取組みに引き続きサポートして参りたいと考えております。

また、人材不足は全産業における社会構造的な課題として深刻化しており、その対応として外国人材の活用促進や工業系高校や大学との連携強化、若手技術者の育成事業にも引き続き注力し、石川県が推進する「石川県成長戦略」とも連携しながら、モノづくり産業の持続的発展を支える人材基盤の強化に努めて参ります。

今後とも、業界を取り巻く環境変化に機敏に対応できますよう、会員企業の皆様からのご意見やアイデアを積極的に反映した事業を進めて参りたいと考えております。県内鉄工機電業界の発展のため全力を尽くす所存でありますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【CONTENTS】

令和7年度通常総会開催	1	DI調査結果(R7.4-6月期)	6
澁谷新会長挨拶要旨	1	令和7年度 研修スケジュール	7
新任役員のご紹介	2~3	青年部会だより	8
令和7年度委員会正副委員長のご紹介	3	会員情報	8
協会トピックス		令和7年度 協会スケジュール	8
環境講演会	3		
第1回ビジネスサポートスクール	4	(別紙) 延払による機械設備貸与制度のご案内	
MEX金沢2025開催	4~5	令和7年度従業員表彰のご案内	

回									
覧									

令和7年度新任役員のご紹介

新たに就任された役員のご紹介 (敬称略)

協会職名/お名前/会社名・役職



名誉会長
中村 健一
中村留精密工業(株)
名誉会長



常任相談役
新家 康三
大同工業(株)
相談役



相談役
水越 裕治
(株)アクトリー
代表取締役会長



相談役
疋田 正一
疋田産業(株)
代表取締役会長



副会長
新家 伸一
コマツ栗津工場
執行役員生産本部
栗津工場長



常任理事
新家 啓史
大同工業(株)
代表取締役社長



常任理事
板橋 竜也
石川サンケン(株)
代表取締役副社長



常任理事
岡田 健一
岡田研磨(株)
代表取締役社長



常任理事
岡田 等
オカダ合金(株)
代表取締役社長



常任理事
地下 義治
共和産業(株)
代表取締役社長



常任理事
藤井 公祥
(株)小松高田製作所
代表取締役社長



常任理事
宮岸 誠
宮岸(株)
代表取締役社長



常任理事
村田 真二
澁谷工業(株)
執行役員



常任理事
山浦 伯之
(株)石川コンピュータセンター
代表取締役社長



常任理事
山田 律郎
昭和精工(株)
代表取締役



常任理事
横山 信太郎
(株)横山商会
代表取締役社長



常任理事
米澤 卓也
(株)暁化学工業(株)
代表取締役社長



理事
浅下 秀昭
浅下鍍金(株)
代表取締役



理事
和泉 憲明
(株)和泉工業
代表取締役社長



理事
笹田 輝
(株)二水
代表取締役社長



理事
塩谷 栄治
石川可鍛製鉄(株)
代表取締役社長



理事
島 陽一
(株)島製作所
代表取締役社長



理事
玉田 善久
タマダ(株)
代表取締役社長



理事
疋田 弘一
疋田産業(株)
代表取締役社長



理事
水越 裕介
(株)アクトリー
代表取締役社長



理事
村田 祐介
シシクアドクライス(株)
代表取締役社長



理事
横山 茂樹
コマツ栗津工場
総務部部长



監事
二木 孝行
(株)フタキ鉄工
代表取締役



監事
松本 晶久
松本機械工業(株)
代表取締役副社長

令和7年度委員会正副委員長のご紹介

(敬称略)

委員会名	委員長	副委員長
総務企画委員会	①石野 晴紀 (株)石野製作所社長	別川 稔(株)別川製作所会長 ①中西 真二(澁谷工業(株)常務執行役員)
①新分野・環境委員会	①中村 俊介 (株)東振精機会長	吉田 守伸(株)コマテック会長 ①梶 精能(株)梶鋳工所社長
見本市委員会	①井上 英一郎 (金沢機工(株)社長)	①深山 泰輔 (中村留精密工業(株)取締役)
①経営技術・人材委員会	①宗行 伸一郎 (株)ノトアロイ社長	板尾 昌之(株)板尾鉄工所社長 岡田 等(オカダ合金(株)社長)
広報・情報委員会	①小池田 康秀 (株)北都鉄工社長	①米澤 卓也(暁化学工業(株)社長) ①岡田 健一(岡田研磨(株)社長)
国際委員会	山本 洋志 (アサヒ装設(株)会長)	東野 哲郎(東野産業(株)社長) ①梶 司郎(株)梶製作所社長
デジタル化推進委員会	山浦 伯之 (株)石川コンピュータ・センター社長	河原 洋士(日本電気(株)北陸支社長) ①小林 靖典(株)小林製作所社長
延払による 機械設備貸与審議会	①中西 真二 (澁谷工業(株)常務執行役員)	四十万 尚 (高松機械工業(株)常務取締役)

委員会の統合について

「新分野進出委員会」と「環境委員会」を統合して「新分野・環境委員会」、「経営技術指導委員会」と「人材育成委員会」を統合して「経営技術・人材委員会」となりました。

協会トピックス

環境講演会

開催日：令和7年3月25日(火)

場 所：石川県地場産業振興センター本館

参加者：28名

テーマ：「サーキュラーエコノミーに向けた製造業の経営革新」

講 師：白肌邦生氏 北陸先端科学技術大学院大学 教授



循環経済(サーキュラーエコノミー)とは、過去の過剰なマーケティングを反省し、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながらサービス等通じて付加価値を生み出す経済活動です。消費する目的や、消費を通じたウェルビーイング等の多面的成長が必要で、製造業においては、モノづくりから一歩進めた顧客へのサービス提供が重要となってくるだろう、とのことでした。

第1回ビジネスサポートスクール

開催日：令和7年4月17日（木）

場 所：石川県地場産業振興センター本館

参加者：21名

テーマ：「BCP・事業継続力強化計画 まるっと解説」

講 師：竹田健一氏 中小企業基盤整備機構北陸本部
中小企業アドバイザー（経営支援）



講師の竹田氏には、自然災害や新たなリスクとなっているサイバー攻撃などに対し、企業等が事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などについて、分かりやすくご説明いただき、グループワークも行いました。

“技術が切り拓く、未来の鼓動”をテーマにMEX金沢2025開催

5月15日（木）から17日（土）の3日間「MEX金沢2025（第61回機械工業見本市金沢）」を石川県産業展示館で開催しました。

第61回目となる今回は、新たに1号館も展示会場として拡充し、過去最多の**279社（275社・4団体）**からご出展をいただき、出展規模は**850小間**となりました。3日間で延べ**3万3千人**を超える来場者の方々にお越しいただきました。

「ビジネス創造フェアいしかわ」と合同で行った「開会式」では、馳知事をはじめ多くのご来賓の方々にご臨席を賜りました。中村会長は挨拶で「MEX金沢では、生産効率の最新技術を兼ね備えた工作機械をはじめ、自動化・省力化に資する多種多様な機械・機器、また環境にも配慮した設備・機器などが出展されており、我々モノづくり企業は、新しい時代にも一層切磋琢磨し、世界に先駆ける気概を持って、日々技術を磨き、創意工夫を続けていく」と述べられました。



〈記念セミナー・ワークショップ〉

記念セミナーは、少子化が急激に進む状況において「デジタル化」や「AI」、「ロボット」をキーワードに多くのセミナーが開催され、3日間で5本のセミナーを開催しました。

また、出展者によるワークショップ（技術セミナー）は23講座実施されました。



〈デジタルマッチング〉

出展企業数：11社・1団体

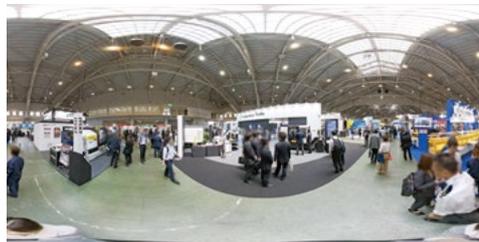
デジタル化導入を模索するものづくり企業と、各種デジタル化ツールを製品として扱う企業が一堂に会して、デジタル化の課題解決促進を図る「デジタルマッチング」が開催されました。今年は開催場所を4号館内にしたことで、多くの方にご来場いただきました。

今後、新しいデジタル技術を導入していくことで、企業や個人の効率が向上することが期待されます。



〈バーチャルMEX〉

VR技術を用いて、実際のMEX金沢2025の展示会場内にいるかのような臨場感で、展示会場や出展企業ブースを見ることが出来ます。MEX金沢ホームページ内（下記URLまたは二次元コード）からご覧いただけます。



<https://www.tekkokiden.jp/mex/virtual/>

〈学生特別企画～いしかわUIターン促進モノづくり発信事業～〉

県内外に進学した学生を対象に県内企業を理解してもらい、UIターン就職を促すことを目的に、学生を対象とした特別企画を実施しました。

今回5回目となる学生特別企画には、富山・福井など県外学生160名を含む**616名(延べ2,833名)**の学生が、



参加企業32社から実際に展示製品を前に、製品や企業の概要などの説明を受けました。参加学生からは「実際の技術に触れることで、製造業への理解が深まり、機械や工業に対して興味を持つことができ、将来の就職先の選択肢を増やすとともに、貴重な経験ができた。」などの声がありました。

一方、参加企業からは「実機を見せながらの説明が出来たので、資料だけの説明よりかなり説得力があったと思う。」「文理問わず学生が機械に興味を持ってもらうきっかけになったと思う。」などの感想をいただきました。

〈高校生MEX金沢見学〉

工業系に関わらず高校生にモノづくりを理解してもらい、進路選択に活かしてもらうことを目的に実施しました。今回は8校(工業科、普通科、商業科) **約700名の高校生・高専生**がMEX金沢を見学しました。



見学した高校生からは「自分の知らない企業が沢山あって世界が広がった気がした。改めて石川県は製造がとても盛んな地域だと思った。」「実際に社員の方とお話させていただくことができ、今までより働くイメージがしやすくなりました。」「このようなイベントなどに参加することで、将来の選択肢を広げられると思いました。」などの声がありました。

〈第2回「未来のキカイ」アイデアコンテストの実施〉

今回2回目となる、子どもたちにこんなキカイがあったらいいなというアイデアを絵に描いてもらう「未来のキカイ」アイデアコンテストを実施しました。小学生の部に**16作品**、中学生の部に**14作品**の応募がありました。宇宙のゴミ問題を解決する壮大なアイデアや、重いランドセルを軽くする普段の生活からヒントを得たもの、海の生物をゴミから守るアイデアなど、環境問題や、日々の暮らしのサポートを題材にしたものなど様々な作品がありました。

結果は右記のとおりで、MEX最終日に4号館エントランスホールで表彰式を行い、受賞者に井上見本市副委員長より賞状と副賞の図書カードが贈呈されました。

〈小学生の部〉

(敬称略)

最優秀賞	大慈彌 律	金沢大学附属小	5年
優秀賞	長谷川生真	浜小	6年
優秀賞	村本あさひ	十一屋小	4年
佳作	宮野 陽向	杜の里小	5年
佳作	田中 清春	寺井小	6年
佳作	久保石千夏	条南小	6年

〈中学生の部〉

(敬称略)

最優秀賞	大西ほのか	松任中	2年
優秀賞	細川 颯希	松任中	1年
優秀賞	村井 心結	南部中	1年
佳作	浅黄 陽咲	津幡中	1年
佳作	西川 陽菜	松任中	3年
佳作	大慈彌奏佑	錦丘中	1年

学校名・学年は応募当時(令和6年11月1日～令和7年2月28日)のものです。



小学生の部受賞者の皆さん



中学生の部受賞者の皆さん

〈カーボンオフセットでCO₂排出量実質±0〉

石川県県有林による「J-クレジット」を活用して、展示物や来場者の移動などMEX金沢開催に伴うCO₂排出量を、クレジットで相殺(オフセット)します。(MEX金沢2024 オフセット実績280t-CO₂)

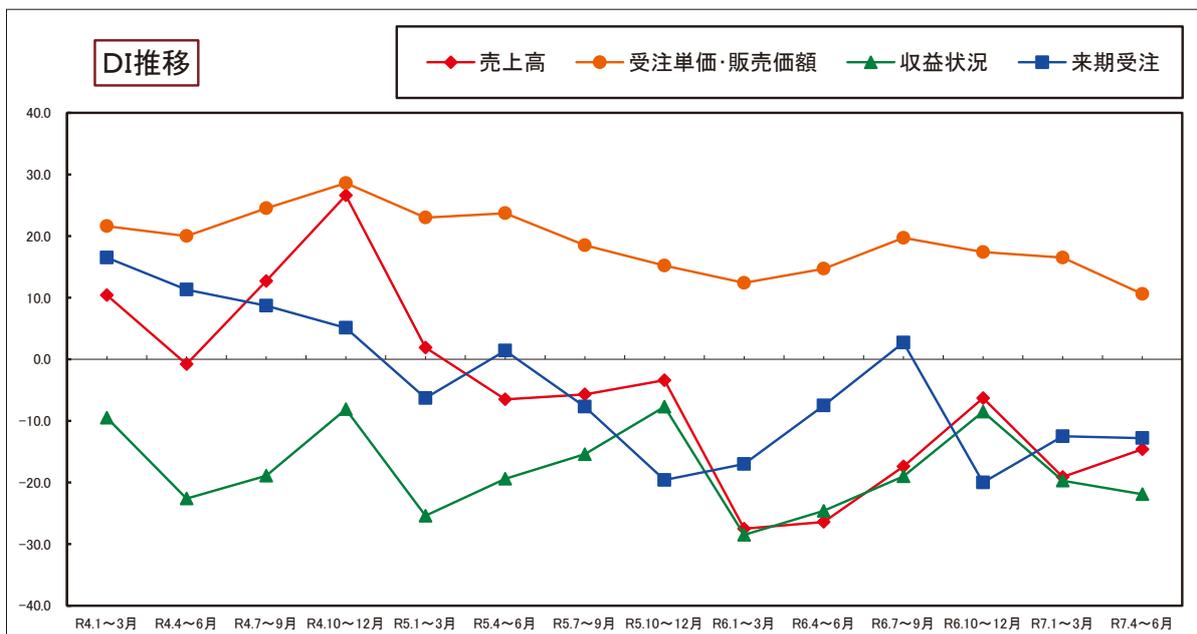
MEX金沢2026(第62回機械工業見本市金沢)
2026年5月14日(木)～16日(土)に開催決定!!

DI調査結果 (令和7年4月-6月期)

概況総括：『景況感は依然として低迷しており、停滞が続いている。』

米国の関税政策により、先行きの見通しが立たず不安感がある』

1. 今期 (令和7年4月-6月期) の業況調査DI12項目では、「受注単価販売価格」だけがプラス、「売上高」など11項目がマイナスとなり、9項目が悪化している。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」は、▲14.6 (前回▲19.1) と改善したものの依然としてマイナスとなっている。また高騰が続いている「原材料価格」も▲32.1 (前回▲39.4) と改善したもののマイナス圏での推移、「収益状況」は▲21.9 (前回▲19.7) と悪化しており、原材料価格や人件費の高騰が進み、停滞感が続く厳しい状況が窺える。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲14.4 (前回▲7.9) と減少し、依然として停滞感が窺える。「受注残」▲1.9 (前回3.3) とコロナ禍のR3年4-6月期以来4年ぶりにマイナスへ転落した。「生産設備」も▲0.4 (前回3.3) とマイナスになった。
3. 来期については、「来期受注」▲12.8 (前回▲12.5) と少し減少した。それに伴い「来期採算」▲16.9 (前回▲13.7) と減少、「来期資金繰」は▲12.8 (前回▲13.7) といずれもマイナス圏にあり、先行きについては見通しがたっていない。
4. 「企業経営上の悩み」については、「受注不安定」が41.2 (前回37.1) と引き続きトップとなった。「人材不足」も31.3 (前回28.0) と依然として高く、自動化や省人化の取組みが急がれる。
5. 景況感は海外経済減速等の影響により依然として停滞が続いている。原材料費や人件費の高騰、長引くロシア・ウクライナ問題とともに、トランプ米政権の関税政策による、欧米や中国経済の動向などの影響を受け、依然として先行き不透明であり、不安感が拭えない。





【きでんスクール】

開催日(予定)	テーマ(1日コース)	受講料	定員
7月18日(金)	製造現場で進めるコスト改善	3,000	30
8月1日(金)	ヒューマンエラーとポカミス対策	3,000	30
8月29日(金)	安全活動の進め方	3,000	30
9月12日(金)	女性社員のためのキャリアアップセミナー	3,000	30
9月26日(金)	ムダの発掘と改善	3,000	30
11月7日(金)	組織活性化のための「報・連・相」	3,000	30
11月21日(金)	コミュニケーションスキルUP講座	3,000	30
12月5日(金)	なぜなぜ分析で品質改善	3,000	30
12月19日(金)	分かりやすい原価管理の基礎	3,000	30
2月13日(金)	5Sで仕事のやり方を変えよう!	3,000	30
2月27日(金)	若手社員レベルUP教育	3,000	30
3月13日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

開催日(予定)	テーマ(2日間コース)	受講料	定員
7月9日(水)～10日(木)	生産現場に活かす品質管理技法(QC7つ道具)	5,000	12
10月9日(木)～10日(金)	新 製造業におけるコストダウン実践法	5,000	10
10月23日(木)～24日(金)	ISO14001内部環境監査員養成講座	15,000	30
1月20日(火)～21日(水)	新 標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理	5,000	12
1月22日(木)～23日(金)	新 製造現場改善のIE活用技術	5,000	12

【技能継承スクール】

開催日(予定)	テーマ	受講料	定員
7月9日(水)～10日(木)	精密測定技術(計測器管理技術編)	4,000	6
7月15日(火)～16日(水)	新 現場のための電気保全技術	3,000	10
7月16日(水)～17日(木)	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	8,000	10
7月16日(水)～18日(金)	工具研削実践技術(ドリル研削)	5,500	6
7月30日(水)～31日(木)	半自動アーク溶接技能クリニック	7,500	10
8月20日(水)～22日(金)	有接点シーケンス制御の実践技術	5,000	10
8月21日(木)～22日(金)	クラウド活用によるIoTシステム構築技術	5,000	10
9月16日(火)～19日(金)	旋盤加工技術	6,500	10
9月24日(水)～26日(金)	工具研削実践技術(ドリル研削)	5,500	6
10月1日(水)～3日(金)	PLC制御の回路技術	4,500	10
10月22日(水)～24日(金)	PLC制御の回路技術	4,500	10
11月5日(水)～6日(木)	精密測定技術(計測器管理技術編)	4,000	6
11月11日(火)～12日(水)	新 オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発(Python編)	4,500	10
11月12日(水)～13日(木)	精密測定技術(歯車・三針法などの特殊測定)	3,000	12
12月2日(火)～5日(金)	フライス盤加工技術	8,000	8

令和7年度青年部会通常総会

開催日：令和7年6月6日（金）

場 所：金沢東急ホテル

令和7年度青年部会通常総会を開催しました。会員数77名に対し、出席者56名、委任状出席16名の併せて72名のもと、令和6年度事業報告・決算報告及び、令和7年度事業計画・収支予算並びに役員人事が可決承認されました。また、山本伊智郎代表幹事（㈱サンエー精機代表取締役社長）より本総会をもって代表幹事の任期を満了する旨の報告があり、新代表幹事として（㈱旭ウエルテック代表取締役社長）の山田裕樹氏が就任されました。なお、今回の総会をもって7名の方々が青年部会を卒業されました。これまでのご尽力に感謝申し上げます。



【山田裕樹新代表幹事就任挨拶】

本年度より青年部会の代表幹事に就任しました、株式会社旭ウエルテックの山田裕樹と申します。歴史ある石川県鉄工機電協会青年部会の代表幹事を務めさせていただくこと大変光栄に感じております。未熟な点も多くあると思いますが、全力で取り組んでまいります。

近年、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、特に「後継者不足」という課題は深刻さを増しています。こうした時代だからこそ、次代を担う私たちの役割を考え、互いに学び合い、高めあうことが何よりも大切だと感じています。

青年部会のモットーは『よく遊び、よく学べ』。会員の皆様と楽しみ、人としても経営者としても成長していける会にしていきたいと思っておりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

i 会員情報 令和7年6月13日までにお寄せ頂いた内容を掲載しています。

◆代表者の変更

会社名	新代表者	会社名	新代表者
SMC(株)金沢営業所	奥村 雅幸	北陸有機工業(株)	石橋 優
(株)NTN能登製作所	漆戸 一博	(株)松浦電弘社	眞塩 海里
(株)NTN羽咋製作所	宇水 雅博	(株)山高商会	今若 充啓
(株)オーテクス	乙脇 拓真	組合名	新代表者
オムロン(株)北陸支店	小山 隆志	(協)アイケイケイ	石野 晴紀
(株)PFU	平原 英治	石川県歯車工業(協)	笹田 輝
		石川県鍍金工業組合	浅下 秀昭

◆社名変更

新社名	旧社名
JDE(株)	(株)大善工業
合同会社ワイプラ	山本鉄工所

◆新会員の紹介 令和7年6月23日開催の理事会にて承認された会員企業を掲載しています。

会社名	代表者	住所	業種	TEL/FAX
(株)大松商会	木村 康徳	金沢市東力2丁目16番地	工業用ゴム製品および合成樹脂製品の製造販売	076-291-1141/076-291-1392
北陸成型工業(株)	鈴木 智久	小松市花坂町180番地	セラミックス製品の製造販売	0761-41-1341/0761-41-1347

令和7年度 協会スケジュール

開催日(予定)	内 容
会 議	
8月27日(水)	広報・情報委員会
行 事	
7月30日(水)～8月1日(金)	デジタル化推進委員会・新分野・環境委員会合同視察(北海道)
9月3日(水)	業界振興懇談会
10月9日(木)～10日(金)	MOT先進工場見学会
10月15日(水)～16日(木)	広報・情報委員会視察(東京都)
10月29日(水)～30日(木)	経営技術・人材委員会先進地視察(埼玉県)
11月5日(水)～7日(金)	VIMF2025(ベトナム・バクニン)
11月17日(月)	第61回功労者・永年勤続者表彰式